

議 平生町
議会だより

第 103 号

2007年5月25日

発行 平生町議会
 〒742-1195
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
 発行責任者 平岡正一
 編集 議会広報広聴調査特別委員会



楽しいな（3月24日児童館まつり）

3月
議会報告
いっぱい質問

定例会.....	2ページ
委員会報告.....	4ページ
いっぱい質問.....	6ページ
研修報告.....	9ページ
投稿コーナー.....	10ページ

5月から平生町のホームページアドレスが変わりました。

◇平生町ホームページ <http://www.town.hirao.lg.jp/> ◇E-mail gikai1@hirao.townnet.pref.yamaguchi.jp

副町長制を導入

平成19年第1回平生町議会定例会が、3月7日から13日間の日程で開かれました。

3月議会は、19年度の予算を審議する大事な議会です。町長から提案された議案は、平成18年度補正予算7件、平成19年度当初予算9件、条例14件、事件9件、同意1件の計40議案、議員から提案した議案2件です。

議案は町長提案の撤回された条例1件を除き、全会一致または賛成多数で可決承認されました。

一般質問では、3人の議員が登壇し、町政の諸課題の取組みについて質問をしました。

町長は、新年度の提案説明の中で、行財政のあり方、5つの柱に基づいた予算の考え方について次のように述べました。

《行財政のあり方》

平成17年度から緊急行財政改革プログラムを実施しており、本年度から第4次行政改革大綱、集中改革プランによつて、4年間にわたる改革期間を設定し、鋭意取り組んでいる最中です。

内容として、「行政の簡素・効率化」、「組織・機構の簡素・効率化」、「定員管理の適正化及び給与制度の見直し」、「財政の健全化対策」の4つの柱に基づき、住民との協働

のまちづくりをポイントとして、実践をはかっています。

1. 「行政の簡素・効率化」では、行政評価の導入、民間委託の推進として、指定管理者制度を導入しています。

2. 「組織・機構の簡素・効率化」では、第1期の改革として、事業課の統合をはかり技術職員を集約することで機

動性の高い業務遂行を

目指しました。

3. 「定員管理の適正化及び給与制度の見直し」では、今年度早期退職者が8名となったことから、急遽身体障害者を含めて3人の新規採用をしました。

4. 「財政の健全化対策」では、歳入の確保をはかることを課題として掲げ、使用料、手数料の条例改正をし、手数料の50円の引き上げ、行政財産の目的外使用

の規定を整備し、さらに複写機、印刷機の利用料の設定をしました。

税の検討では、都市計画税の導入準備をしました。税収確保施策については、徴収の強化に取り組んでいます。財産処分については町有地の未利用地の処分計画を策定しました。

《予算の考え方》

安全、安心のまちづくり
人が人を傷つける行為が日常茶飯事に発生しています。安全、安心の環境を提供できるかどうか、安全度のバロメーターだと考えています。

特に、医療制度については、時代にマッチした制度が求められています。75歳以上の高齢者を対象にした後期高齢者医療広域連合も発足し、高





高齢者が適正な医療を受けられるように、環境整備をはかっていきます。

協働のまちづくり

自助、共助、公助の明確化をはかり、行政の役割分担をはっきりさせる必要があります。

これには、自治会活動を活性化させることが重要です。活動費の交付基準を改めることや、地域の力発揮事業の充実など協働の仕掛けをします。

子どもたちの育成

環境づくり

乳幼児から中学生に至るまで、子育て世代の者に対して、きめ細かな対応をとっていききたいと考えています。

周東総合病院の小児科問題については、地域医

18年度 補正予算

療を守るため、休日夜間救急診療所を一刻も早く開設することが子育て支援に結びつくものと確信し、その実現に向けて努力していきます。

定住を促進する

元気なまちづくり

上関町と共同事業となっているケーブルテレビの基盤施設整備事業は、情報化時代へ対応する基盤整備として、円滑な推進をはかっていきます。

持続可能な

まちづくり

国の財政再建が優先されていますが、地方自治体は必要最小限の歳出にも歳入が見合っていない状況に追い込まれています。

当面は、第4次行政改革大綱に基づく改革を進

3月議会の補正予算の主な理由は、事業確定見込みによる減額及び増額の措置です。

これにより、平成18年度的一般会計予算総額は7657万円増額の47億956万円となりました。

特別会計は、7006万円減額の49億6211万円となりました。

めていきます。基金残高が懸念されるところまで落ち込んでいますので、歳入のさらなる確保をほかりながら、再度新しい視点で取り組みを強化していきます。

その意味で、自治法の改正とはいえ、副町長を設置し、内外に対し、より明確にマネジメント機能を強化します。機構改革による一体性をもってこの難局に立ち向かう決意です。

平成19年度予算は、一般会計45億9000万円（対前年度比2.7%増）、特別会計50億1053万円（対前年度比2.9%増）、合計96億53万円（2.8%増）となりました。

〈増減がある主な事業〉

一 一般会計

▽退職手当組合負担金 7079万円増額

▽地域インフラ基盤事業 1790万円減額

▽財政基金積立金 5425万円増額

特別会計

▽国保療養給付費

4024万円減額

委員会審査報告



心を込めてお弁当を作っています（4月25日大野コミュニティセンター）

- 平成19年3月8日の本会議から付託を受けた、平生町議会委員会条例第2条に基づく所管事項について、3月12日に委員会室で慎重に審議しました。
- その結果、すべてを全会一致で承認しました。
- 補正予算**
- 質** 住民基本台帳カードの使い方は。
- 答** 転入転出の手続きが簡素化されること、金融機関などで公的な証明書として利用できる。
- 質** 中山間地域等直接支払制度は適正に行われているか。
- 答** 昨年4月に会計検査を受けており適正に行われている。
- 質** 介護保険事務処理システムの改修は新年度に向けてのものか。
- 答** 国が18年度の補正予算で対応するため、町



非常用発信器が設置される児童館

- でも同様に18年度で対応する。
- 質** 老人福祉総務費の地域福祉活動事業費補助金の内容は。
- 答** 大野・曾根・佐賀地区の独居老人への配食サービスが主なもの。
- 質** 児童福祉費の緊急通報装置の内容は。
- 答** 町内各保育園と児童クラブの非常用発信器を県警ホットライン緊急通報装置に切り替え
- る。より迅速に対応でき、維持費も不要となる。
- 質** 町営住宅明渡請求の予定は。
- 答** 入居者不在の3件を予定しており、悪質滞納者は今後対応していきたい。
- 質** 砂防費の小規模急傾斜地崩壊対策事業の詳細は。
- 答** 急傾斜区域に指定後、2ヶ年で整備する。今年度の事業費3千万円の内半分を県が負担町が600万円、地元が900万円の負担。
- 質** 上下水道料金の一括納付は検討しているか。
- 答** 平成20年度導入を目標としている。

保育園、児童クラブに県警ホットライン緊急通報装置を設置 産業厚生常任委員会

自主防災組織に発電機を配備

総務文教常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項を3月14日委員会議室で慎重に審議した結果、全会一致または賛成多数で承認されました。

補正予算

質 法人町民税減額の理由は。

答 18年度業績が良くない法人が増えたからである。

質 佐賀小学校の特別支援学級が2学級の要望に対し、1学級の決定となっているが、支障はないか。

答 県・医師・保護者の協議を経ている。

質 地方債の実質の借入利率はいくらか。

答 10年償還で1.8%、30年で2.2%か2.3%で借入先や年数で差がある。

質 繰越明許費の養護老人ホーム整備の内容は。

答 外部サービス利用型



真剣に議論する行政協力員会議

特定施設の指定に伴う施設改修である。

質 町たばこ税増額の理由は何か。

答 本数は減っているが、昨年7月に単価が上ったためである。

質 一般管理費で行政協

力員手当と自治会活動費を統一した理由は。

答 一本化によって自治会の裁量で幅広く使

えるよう考慮した。行政協力員手当は、活動費の連絡調整割となり、自治会の規模により異なる。自治会活動費は平等割を1500円から1000円に、活動割の参加者単価を100円から150円に変更する。

質 企画振興費のまちづくり基金事業の結果と効果はどうか。

答 住民が企画・運営する事業に対し50万円を上限に補助している。環境整備やふれあい事業が行われており、広報で効果は知らせていく。

質 消防費のコミュニケーション助成事業の内容は。

答 上水道区域外の11の自主防災組織に、災害時の生活用水確保のための発電機を配置する。



淵上正博 議員

いっぱん質問

質

安心して子育てできる町の方策は

しっかり連携した取り組みが出来るように心がける

質

1. 平成19年度から、すべての市町村で「放課後子どもプラン」を策定して、総合的な放課後児童対策を推進するという発表があった。

2. 当町には一時保育の制度はあるが、その制度が機能しているのか町には4つの保育園がある。それぞれの保育園でどのような体制がとられているのか、報告、連絡、相談はどのようにになっているか。

答

町長

1. 子どもたちの安全



樹木に隠れた街灯

心な活動拠点づくりが、大きな目標である。本町としては、運営委員会を設置してこれまでの実績を踏まえながら、具体的な活動プログラムを検討していくことになる。

2. 保護者が疾病などにより、家庭で保育ができない場合の一時保育事業である。特に、3歳児未満の場合はいろんな基準があり、なかなか余裕がない状況ではあるが、町内の4つの保育園との連携、町の窓口との連携また柳井のファミリーサポートセンターの利用を推薦したり、親切丁寧に取り組みができるように今指示をしている。

質 生活環境の整備は

答 地域の力発揮事業を活用して欲しい

質

生活環境についてのアンケート調査の中で上位3点について問う。

1. 街灯について。

事件、事故のことを考えると、もう少し街灯を増やす必要がある。山間部にいくほど少なくなっている、当町の方針はどうなっているか。

2. 道路整備について。

下水道工事後の道路の凸凹が多く見受けられる。町にも管理責任はある、町民の要求に對しどのような考えを持っているか。

答

町長

3. 公園、子どもの遊び場について。町内には公園が少ないと思う。地域に密着した公園、子どもの遊び場について町の方針はどのようにしているか。

1. 街灯の設置については総務課に窓口を一本化して対応している。防犯、交通安全の目的で街路灯設置事業の補助制度があり町が2分の1補助をしている。

2. 工事の完了検査の段階で、業者から提出された資料に基づいて、現場確認を行って、舗装の面積、厚さ、強度等を確認して引き取ることにしている。通常は、2年間業者の責任において管理をして、整備補修をすることになっている。

3. 現在は、地域の力発揮事業として、平成17年度から取り組んでいる。

町としてもこの事業を引き続き新年度も実施するのでぜひ活用してほしい。



山名喬二 議員

質 町長の政治姿勢を問う

答 職員採用は激変緩和措置として実施した

質問

職員の給与削減はこの2年間連続3回実施され、更なる削減が想定される状況下であり、職員の士気低下が懸念される。

- 1. 職員の士気低下は見られないか。
2. 2年間を総括してどのように捉えているか。
3. 士気向上に向けた『フォロー』をしているか。
4. 士気向上の雰囲気づくりに対する認識度。

答弁 町長

- 1. 厳しい状況にあるが一生懸命頑張ってくれている。
2. 財政状況が厳しい中で職員のコスト感覚も以前に比べ良くなっている。
3. 課において、目標の設定をし、それぞ

れ取り組んでもらっている。

- 4. 町民に対して、いろんな会合のなかで職員についても理解して激励してほしいと私からお願している。

再質問

職員3名の新採用及び副町長を置くとなつているが、行財政改革に逆行している。こうした矛盾点を踏まえ、士気低下の責任は町長が負うべきだが、どう考えているか。

再答弁 町長

今回職員採用の件は激変緩和措置として、行った。士気の低下がないよう職員との意思の疎通を図っていく努力をしている。

再々質問

職員の現状をどのように捉え、町長に具申しているか。総務課長に問う。

再々答弁 総務課長

課長会議、あるいは職員組合との意見交換等を通じて現状の把握に努める使命がある。

質問

一般会計の予算規模は16年度53億・17年度47億・18年度44億円と縮小している。この状態で安心・安全なまちづくりが可能か。次の2点を問う。

- 1. 22年度まで想定される予算規模とその理由。
2. 財源対策の進め方。

答弁 町長

1. 19年度当初予算ベースで試算をすると20年度予測が歳入合計42億6800万円、差し引き1億98万円歳入不足、21年度歳入合計42億4300万円、差し引き2億7500万円歳入不足、22年度歳入合計43億400万円、3億6000万円歳入不足という試算になる。

再々質問

町長執筆の広報ひらお2月号『夕張のこと』と題したコラムに、夕張市財政破綻の一端は北海道や国にあると断言されている。これは責任転嫁であり、行政トップの発言とは到底思えない。旧態依然の体質から脱却すべく、町長自身の意識改革が必要である。反論があればご教示願いたい。

再答弁 総務課長

起債残高は17年度までは増えてきているが、今年度末残高については17年度と比べると若干減少する。18年度末が135億程度、19年度末見込みで132億程度というところで全会計を合わせて減少傾向になっている。

質 町の財政に不安を感じるがその対策は

答 財源対策は検討チームで対応している

再質問

起債残高は15年度125億・16年度136億・17年度136億円と増加

再々答弁 町長

答弁なし



細田留美子 議員

質 老人医療の現状と課題を聞く

答 医療費の適正化に努める

質問

町財政支出に大きな割合を占めている老人医療費抑制に、早急に取り組む必要があると考える。

1. 医療費の推移とその分析はどうか。
2. 適正化への取り組み。

答弁 町長

1. 老人医療費は平成14年に対象者の年齢が70歳から75歳に、改正される前は18億円弱、18年度が17億円程度であり対象者が減少している割に、医療費はそれ

ほど落ちていない。

2. 適正な医療に向けた啓発活動として、重複受診などの注意を喚起し、一方では介護予防としての健康づくりに取り組みを入れている。

再質問

1. 終末医療を在宅で受けられる体制は取れないか。
2. 重複受診の対応。
3. 健康づくりの現状と課題はどうか。
4. 個別検診のねらいと実績はどうか。

再答弁 町長

1. 終末医療については、いろんな角度から議論していく必要がある。
2. 重複受診者の対応としては、国保老人医療の「老人保健多受診者一覧表」により、対象者に対し指導している。
3. 高齢者筋力向上トレーニングや今年度から新たに認知症予防教室を開始している。
4. メリットとして、受診期間が限定されず受診の機会が増え、医師から直接指導が受けら



草が繁茂している公園

要望

地域での健康向上の取り組みの結果として医療費が下がることが基本。その具体案を提案する。

1. 1年間医療機関を受診されなかった人の表彰。
2. 定期的な訪問指導。
3. 安以後発医薬品の利用促進。

れる。実績については、600人程度であり、今後PRに努力したい。

質 幼児の目線で遊び場作りを
答 環境重視した維持管理をする

質問

子ども達が遊ぶ公園は、トイレ・水道・遊具・人の目があると安心だ。緑も必要だが繁茂すると子どもの顔に当たり、死角になるなど危険だがどう管理されているか。

答弁 教育長

繁茂し過ぎの過密植栽の伐採も考慮し、環境を整え安らぎの持てる、公園の維持管理に取り組みたい。

再質問

年代によって集まって遊ぶ場所がちがっている。対象者に合わせた公園・遊び場のデザインは考えられないか。今ある場所を順次整備できないか。

再答弁 教育長

広場を整備して、遊具を置けばいいという発想ではなく、年齢的にターゲットを絞り、時代と状況を反映させるなど、発想の転換も含め、引き続き検討したい。

要望

そこに住んでいる人の年代に合わせた公園や空き地の利用を望む。

研修報告

山口県町指導者研修会



町づくりを真剣に聞く議員

平成19年2月14日に、山口県町村会及び山口県町議会議長会主催の、山口県町指導者研修会が山口市内「セントコア山口」において開催されました。「これからの町村のまちづくり」と題して、法政大学現代福祉学部長岡崎昌之氏の講演を拝聴しました。

講演の内容は、平成の市町村合併で停滞していたまちづくりに取りかかる時期として、「都市と農山漁村」「農山漁村地域の再生の方策」「再生の方向」の3つの課題をあげ、それぞれについて、地方の現状を精査した密度の高い講義内容でした。平生町の現状を重ね、まちづくりを進める基礎を学びました。

第8回 議会改革調査特別委員会

平成19年1月25日第8回議会改革調査特別委員会が開催されました。

議員定数について

議員定数を次の一般選挙から16名を12名とする。(平成18年12月議会で議決済み)

組織運営について

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会の委員定数をそれぞれ6名とする。

議員報酬について

報酬、期末手当の合計

議員研修について

議員研修費は19年度当初予算への計上は見送る。ただし、必要に応じて対応する。

*議会広報紙の発行については、広報紙は全ページ白黒化を継続する。
1回の発行ページ数を10ページとし、年4回の発行とする。

以上申し合わせをしました。

固定資産評価審査委員会 委員選任に同意



久保德行さん

平成19年3月22日で、任期満了となる、田中稔さんに代わり、固定資産評価審査委員として、久保德行さんの選任に同意しました。

任期は平成22年3月22日までです。平成18年からひらお特産品センター販売マネージャーとして活躍されておられ、今後の活躍が期待されます。

お詫び

前回102号において監査委員の任期について平成18年10月16日から平成22年10月15日とお伝えしましたが、正しくは、平成18年11月16日から平成22年11月15日の間違いでした。紙面をもってお詫びを申し上げます。



町長、教育長、議会事務局職員と任期満了の記念に

4年間どうも

（5月21日をもって任期満了となります。）

ありがとうございました。

投稿コーナー

平生町の宝物

『平生町に入つて来るとエネルギーが違うよ。優しくて澄んでいて心が癒される』

都会や県外から来た友人知人がよく言います。嬉しい言葉です。

地球汚染が問題になっている今、この町には最も大切な汚染されていない自然という、お金では買えない美しい宝物があると、他県の人々が気付かせてくれます。

在るのが当然のように思っている自然界も私達は破壊することは出来ても創造することは出来ません。

田んぼでキジのつがい
がエサをとり、ホタルが飛び、タヌキやイタチ、
キツネまでいるというこの町の自然環境こそ最新の町づくりであり、それを次世代へつなげることに私達の喜びですといえる心の高さを持つて生きていきたいと思うので

曾根小山 和田康恵

せん。

経済活性化という名目にも、もう踊らされることなく冷静に『鶏頭となるも牛尾となるなかれ』に目覚め、小さくとも信頼しあつて暮らせる町造りがこれからも進めば嬉しいのです。

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、
つれづれに思うこと何でも結構です。

字数 400字以内
締切日 平成19年6月29日
提出先 平生町役場議会事務局
議会広報担当係

紙面の都合で一部変更することもあります、
ご了承ください。
掲載文には薄謝を差しあげます。

議会の動き

(H18・12/15・19・3/6)

- 平成18年12月15日↓22日 第6回定例議会
- 12月22日 議会全員協議会
- 平成19年1月25日 議会改革調査特別委員会
- 議会全員協議会
- 1月30日 熊南地域休日診療施設組合議会
- 2月14日 山口県町指導者研修会
- 2月15日 産業厚生常任委員会
- 平生町土地開発公社理事會
- 2月16日 総務文教常任委員会
- 2月21日 議会運営委員会
- 2月22日 柳井地区広域事務組合議会
- 2月26日 柳井地域広域水道企業団議会
- 周東環境衛生組合議会
- 柳井地区広域消防組合議会
- 2月27日 議会全員協議会
- 3月2日 平生町青少年問題協議会
- 3月6日 熊南総合事務組合議会
- 田布施・平生水道企業団議会

編集後記

▼風薫る5月、新入学生の元気な登校の姿を見て町民の一人として、うれしく活気付けられます。

▼3月議会は19年度予算等を慎重に審議し、可決承認されました。

厳しい財政状況下の予算編成です。予算の執行に当り目を光らせていきたいと思ひます。

▼4月の町議会議員選挙において、定数12名中3分の1にあたる4名の新進気鋭の議員が誕生しました。町政発展のために活躍を期待します。

▼朝晩は寒く体調管理が大変ですが、十分に健康に気を配り、健康第一で活動していきましょう。

▼3月議会だよりが4月に統一地方選挙が行われたため5月発行になりました。御了承願ひします。

この編集メンバーも今回が最後となりました。「みなさまに読んでいただける広報」をめざし、この2年間試行錯誤を繰り返しましたが、いかがだったでしょうか。これからもご愛読下さい。

川本健吾